

発展を目指す企業家のための経営指南役

No. 520

平成21年 6月 8日(月曜日)

# 社外重役

Selected Clients &amp; Professionals Relationship

発行)株式会社ノースアイランド  
 東京本社)東京都千代田区丸の内3-2-3 富士ビル5F  
 Tel.03-3216-2004 Fax.03-3216-0439  
 大阪支社)大阪市北区堂島2-1-31 京阪堂島ビル5F  
 Tel.06-4799-2004 Fax.06-4799-0539

人事

## 新人の「五月病」からの脱出策 小さな目標 達成の積み重ね

今、新人は3年どころか、3ヵ月も我慢できない「五月病」に罹り、上司や人事担当者を悩ませます。五月病とは5月のゴールデンウィークが明けるとき発症する、新人にとっての職場適応障害、その予備軍のことで、広義には夏休み前までをいうこともある。

この時期の新人の多くは、朝食抜きの通勤などに起因する肉体的疲労と、人間関係で煩わされる精神的疲労で不安がピークに達している。仕事上の悩みは基本的なことがうまくいかないレベルのもので、マニュアル暗記からようやく脱皮する時期である。コピーの取り方、顧客からの電話応対、報告書の書き方や誤字など上手下手を悩み、自分の能力に漠然と不安を持つ。

上司は日常、このような前兆をかぎ取るには何でもない仕草に目を配り、特に与えられた業務に取り掛かる事前の姿勢と、その結果報告の態度に注意しなければならない。与える目標は小さくていい。「なぜその仕事が重要か」を説明し、動機付けを促す。「来週訪問する顧客の承諾を一つでも取って」と命じ、「2つ取った」となれば自信がつく。上司は「ここはよく取れた、難しい会社だからね」と、新人に空虚に響かないよう、褒め言葉にも根拠を付加する。

上司 新人の上下関係に不慣れな新人も多い。この時期の新人はまだ試運転中であることも考慮し、多くの会社ではメンター(中堅社員の助言者)を置き世話係りにして、よろず相談を受ける制度を設けている。

税務会計

## 所得税の納税額は5年ぶりに減少 申告書提出者は10年連続で最高

国税庁がこのほど発表した2008年分所得税等の確定申告状況によると、所得税の確定申告書を提出した人は、前年を0.3%上回る2,369万3千人となり、10年連続で過去最高の記録を更新した。

しかし、所得税の申告納税額は、前年を11.6%下回る2兆6,495億円となっており、5年ぶりに減少した。減少率は1998年分(15.9%減)以来10年ぶりの水準。景気悪化の影響で、地価や株価が下落し、譲渡所得が大幅に影響したことが要因とみられる。

確定申告書提出者のうち、申告納税額がある人は、前年に比べ3.2%減の752万3千人で、その所得金額も8.5%減の39兆5,940億円となり、それぞれ3年連続、2年連続で減少した。11.6%減で2兆6,495億円となった申告納税額は、ピークの1990年分(6兆6,023億円)の約40%にあたる。

なお、還付申告者数は、前年を1.1%上回る1,283万6千人となり、4年連続で過去最高を更新し、申告者全体の約54%を占めた。

所得税申告者のうち、株式等譲渡所得の申告者は1.6%減の89万人5千人、うち所得金額がある人が55.3%減の18万7千人、所得金額は46.0%減の1兆3,026億円だった。

これらの株式等譲渡所得の申告者を除く土地等の譲渡申告者も9.4%減の45万9千人、うち所得金額がある人は12.0%減の25万人、所得金額は23.7%減の3兆2,197億円と、株式等譲渡所得とともに大幅に減少している。

今週のキーワード

メンター

上層部からの指示や命令でなく、メンターと呼ばれる指導者(助言者)が、対話による気づきと助言による被育成者(メンティ)本人の自発的・自律的な発達を促す方法。総称してメンタリングといい、人材の指導方法の一つ。大手では助言者が他部署の管理職というケースもある。これは中堅社員のキャリア育成を目標に置いている。現代はフレキシブルな末端への権限委譲型の組織管理・人材育成が志向されるためである。今後自ら考え判断する能力が強く求められる。